

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2011年2月14日
【四半期会計期間】	第57期第3四半期（自2010年10月1日至2010年12月31日）
【会社名】	株式会社W D I
【英訳名】	WDI Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役 清水 謙
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木五丁目5番1号
【電話番号】	03(3404)3704(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部本部長 佐々木 智晴
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木五丁目5番1号
【電話番号】	03(3404)3704(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部本部長 佐々木 智晴
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第56期 第3四半期連結 累計期間	第57期 第3四半期連結 累計期間	第56期 第3四半期連結 会計期間	第57期 第3四半期連結 会計期間	第56期
会計期間	自 2009年 4月1日 至 2009年 12月31日	自 2010年 4月1日 至 2010年 12月31日	自 2009年 10月1日 至 2009年 12月31日	自 2010年 10月1日 至 2010年 12月31日	自 2009年 4月1日 至 2010年 3月31日
売上高(千円)	13,441,316	12,949,799	4,474,115	4,435,420	17,632,110
経常利益(千円)	284,224	433,939	251,820	260,060	325,748
四半期(当期)純利益(損失) (千円)	219,025	80,230	202,124	124,966	69,778
純資産額(千円)	-	-	1,386,951	1,067,963	1,265,930
総資産額(千円)	-	-	9,787,971	8,667,186	8,597,752
1株当たり純資産額(円)	-	-	214.00	163.38	194.52
1株当たり四半期(当期)純利益 (損失)金額(円)	34.59	12.67	31.92	19.74	11.02
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	13.8	11.9	14.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	818,056	421,174	-	-	1,131,606
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	184,306	258,742	-	-	184,019
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	504,602	501,106	-	-	1,601,710
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	1,282,595	1,436,377	838,925
従業員数(人) (外、平均臨時雇用者数)	-	-	1,819 (1,783)	1,815 (1,575)	1,782 (1,763)

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、第56期、第57期第3四半期連結累計期間、第56期第3四半期連結会計期間及び第57期第3四半期連結会計期間は、潜在株式が存在しないため、第57期第3四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、関係会社の異動については、「3 関係会社の状況」に記載しております。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、連結子会社であるWDI International, Inc.は、保有するW STEAK BEVERLY HILLS, L.L.C.の全株式をW Steak California Corp.及びPeter Zwiener氏に譲渡いたしました。

これにより、W STEAK BEVERLY HILLS, L.L.C.は連結子会社から除外され、変更後の当社の連結子会社の数は7社となりました。

4【従業員の状況】

（1）連結会社の状況

2010年12月31日現在

従業員数（人）	1,815 (1,575)
---------	---------------

（注）1．従業員数は、就業人員であり臨時雇用者数は、当第3四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

2．海外事業分においては、2010年9月30日現在としております。

（2）提出会社の状況

2010年12月31日現在

従業員数（人）	2 (-)
---------	---------

（注）従業員数は、就業人員であり臨時雇用者数は、当第3四半期会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当社グループは、生産を行っていないため、該当事項はありません。

(2) 受注状況

当社グループは、店舗においてお客様から商品の注文をいただき、その場で調理して直接お客様に提供しておりますので、受注実績については記載すべき事項はありません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間のセグメントごとの販売実績を示すと、以下のとおりであります。

セグメント名称	前第3四半期連結会計期間 (自2009年10月1日 至2009年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自2010年10月1日 至2010年12月31日)	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
日本	3,381,136	75.6	3,383,089	76.3
北米	722,074	16.1	688,894	15.5
ミクロネシア	315,585	7.1	289,370	6.5
アジア	55,318	1.2	74,066	1.7
その他	-	-	-	-
合計	4,474,115	100.0	4,435,420	100.0

(注) 1. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

当第3四半期連結会計期間の事業部別の販売実績を示すと、以下のとおりであります。

事業部	前第3四半期連結会計期間 (自2009年10月1日 至2009年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自2010年10月1日 至2010年12月31日)	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)
カプリチョーザ事業部	1,472,984	32.9	1,469,208	33.1
ハードロックカフェ事業部	637,201	14.3	656,408	14.8
トニーローマ事業部	618,904	13.8	592,772	13.4
パパ・ガンブ・シュリンプ事業部	265,206	5.9	287,634	6.5
グランド・セントラル・オイスター・ バー&レストラン事業部	244,137	5.5	246,181	5.6
その他事業部	1,235,680	27.6	1,183,215	26.6
合計	4,474,115	100.0	4,435,420	100.0

(注) 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たな事業等のリスクの発生はありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とした新興国の経済成長や政府による経済支援政策の効果などによって、企業収益に緩やかな回復の兆しは見られたものの、依然として雇用情勢は厳しく、円高やデフレの影響などにより、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、消費者の生活防衛意識や節約志向の高まりから外食を控える傾向は未だ強く、来店客数の減少、客単価の低下等、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、前期より実施しているプライムコスト（売上原価・人件費）コントロールの徹底、本社部門のダウンサイジングといった収益力向上施策を継続し、今期は既存店舗における売上・来店客数の向上を目的とした「4つのオフェンス施策」を順次進めております。

フランチャイズ展開での新規出店といたしまして、日本国内・海外において「カブリチョーザ」をそれぞれ1店舗ずつ出店いたしました。

業績につきましては、上記施策が奏功したことで既存店舗における来店客数に回復基調が見られた影響により、当第3四半期連結会計期間の売上高は4,435百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

営業利益は、国内におけるプライムコスト（売上原価・人件費）コントロールを徹底したことによる店舗の収益力向上に加え、海外業績が好調に推移したことにより、302百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

経常利益は、第3四半期連結会計期間末の為替レートが第2四半期連結会計期間末よりも円高へと進んだ影響による為替差損26百万円を計上したこと等により、260百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

四半期純利益は、法人税等138百万円を計上したこと等により、124百万円（前年同期比38.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

日本

国内では、売上高は3,391百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は348百万円（前年同期比0.0%減）となりました。

北米

北米では、売上高は692百万円（前年同期比4.1%減）、営業損失は3百万円（前年同期は営業損失54百万円）となりました。

ミクロネシア

ミクロネシアでは、売上高は289百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益は29百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

アジア

アジアでは、売上高は74百万円（前年同期比33.9%増）、営業利益は17百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,436百万円となり、前四半期連結会計期間末より139百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間における営業活動の結果増加した資金は165百万円（前年同期は400百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益283百万円、減価償却費150百万円を計上した一方で、その他流動資産の増加123百万円、賞与引当金の減少102百万円があった事によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は92百万円（前年同期は69百万円の増加）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出108百万円があった事によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は235百万円（前年同期は72百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の返済による支出113百万円及び長期借入金の返済による支出121百万円があった事によるものであります。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であったW STEAK BEVERLY HILLS, L.L.C.の飲食店舗の除外については、2010年8月3日(現地時間2010年8月2日)付で、保有するW STEAK BEVERLY HILLS, L.L.C.の全株式をW Steak California Corp.及びPeter Zwiener氏に譲渡したことに伴い、完了いたしました。

その他、当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,127,680
計	22,127,680

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2010年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2011年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,331,920	6,331,920	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,331,920	6,331,920	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2010年10月1日～ 2010年12月31日	-	6,331,920	-	585,558	-	588,655

(6) 【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2010年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2010年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 100	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 6,330,700	63,307	-
単元未満株式	普通株式 1,120	-	-
発行済株式総数	6,331,920	-	-
総株主の議決権	-	63,307	-

【自己株式等】

2010年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
株式会社W D I	東京都港区六本木五丁目5番1号	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

（注） 当第3四半期会計期間末日現在の当社が所有している自己株式数は312株であります。

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	2010年4月	2010年5月	2010年6月	2010年7月	2010年8月	2010年9月	2010年10月	2010年11月	2010年12月
最高（円）	365	360	369	379	386	382	390	400	470
最低（円）	345	341	348	355	355	361	370	380	392

（注） 最高・最低株価は、2010年10月12日より大阪証券取引所JASDAQ（スタンダード）におけるものであり、それ以前は大阪証券取引所JASDAQにおけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（2009年10月1日から2009年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（2009年4月1日から2009年12月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（2010年10月1日から2010年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（2010年4月1日から2010年12月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（2009年10月1日から2009年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（2009年4月1日から2009年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については、あらた監査法人による四半期レビューを受け、また、当第3四半期連結会計期間（2010年10月1日から2010年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（2010年4月1日から2010年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については、太陽ASG有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (2010年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,744,731	1,073,766
売掛金	243,592	216,017
たな卸資産	¹ 266,797	¹ 255,820
1年内回収予定の長期貸付金	9,852	9,852
預け金	513,449	427,889
繰延税金資産	199,849	206,457
その他	501,788	346,383
貸倒引当金	43,652	29,997
流動資産合計	3,436,408	2,506,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	² 5,403,989	² 5,849,431
減価償却累計額	3,040,171	2,994,016
建物及び構築物(純額)	2,363,818	2,855,414
工具、器具及び備品	² 1,474,555	² 1,507,031
減価償却累計額	1,053,132	986,579
工具、器具及び備品(純額)	421,422	520,451
土地	² 232,941	² 232,941
建設仮勘定	4,279	1,059
その他	26,989	27,972
減価償却累計額	18,780	18,887
その他(純額)	8,209	9,084
有形固定資産合計	3,030,671	3,618,951
無形固定資産		
その他	260,271	313,118
無形固定資産合計	260,271	313,118
投資その他の資産		
投資有価証券	4,332	6,762
長期貸付金	109,652	171,951
敷金及び保証金	² 1,387,912	² 1,409,946
繰延税金資産	292,432	333,277
その他	148,771	240,822
貸倒引当金	3,267	3,266
投資その他の資産合計	1,939,834	2,159,492
固定資産合計	5,230,777	6,091,563
資産合計	8,667,186	8,597,752

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (2010年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	470,218	437,645
1年内返済予定の長期借入金	2, 3 2,175,174	2, 3 2,051,025
未払金	572,651	546,131
短期借入金	2 23,000	-
未払法人税等	74,960	189,989
賞与引当金	97,309	200,457
販売促進引当金	12,900	10,000
資産除去債務	24,130	-
その他	550,906	564,397
流動負債合計	4,001,249	3,999,646
固定負債		
長期借入金	2, 3 3,185,680	2, 3 2,808,537
繰延税金負債	68	6,259
その他	412,225	517,379
固定負債合計	3,597,973	3,332,176
負債合計	7,599,223	7,331,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	585,558	585,558
資本剰余金	588,655	588,655
利益剰余金	132,317	250,537
自己株式	179	124
株主資本合計	1,306,350	1,424,627
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,509	4,128
為替換算調整勘定	265,365	197,124
評価・換算差額等合計	271,875	192,995
少数株主持分	33,487	34,298
純資産合計	1,067,963	1,265,930
負債純資産合計	8,667,186	8,597,752

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)
売上高	13,441,316	12,949,799
売上原価	3,296,030	3,224,362
売上総利益	10,145,286	9,725,437
販売費及び一般管理費	1 9,643,278	1 9,065,380
営業利益	502,007	660,056
営業外収益		
受取利息	9,484	8,030
出資金運用益	2,495	16,531
受取補償金	21,273	20,770
その他	27,492	15,234
営業外収益合計	60,745	60,567
営業外費用		
支払利息	129,834	96,133
為替差損	122,644	150,207
その他	26,050	40,343
営業外費用合計	278,529	286,684
経常利益	284,224	433,939
特別利益		
固定資産売却益	3,090	549
子会社株式売却益	31,688	-
貸倒引当金戻入額	128	-
出資金売却益	65,781	-
過年度店舗閉鎖損失見積差額	-	5,300
立退料収入	-	23,000
特別利益合計	100,688	28,849
特別損失		
固定資産売却損	49,412	911
固定資産除却損	3,239	3,741
店舗閉鎖損失	11,226	17,296
貸付金繰上回収費用	16,546	-
減損損失	-	26,478
事業整理損失	-	2 263,744
その他	3,034	1,000
特別損失合計	83,459	313,172
税金等調整前四半期純利益	301,453	149,617
法人税等	135,736	233,229
法人税等還付税額	-	24,515
過年度法人税等	-	18,914
少数株主損益調整前四半期純損失 ()	-	78,010
少数株主利益又は少数株主損失 ()	53,308	2,219
四半期純利益又は四半期純損失 ()	219,025	80,230

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自2009年10月1日 至2009年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自2010年10月1日 至2010年12月31日)
売上高	4,474,115	4,435,420
売上原価	1,110,527	1,113,561
売上総利益	3,363,587	3,321,859
販売費及び一般管理費	1 3,122,850	1 3,019,083
営業利益	240,736	302,776
営業外収益		
受取利息	3,335	1,618
為替差益	34,167	-
出資金運用益	-	19,208
受取補償金	-	6,408
その他	21,303	881
営業外収益合計	58,806	28,116
営業外費用		
支払利息	40,170	30,873
為替差損	-	26,916
その他	7,551	13,041
営業外費用合計	47,722	70,832
経常利益	251,820	260,060
特別利益		
固定資産売却益	3,033	25
貸倒引当金戻入額	27	2
出資金売却益	65,781	-
その他	37	-
特別利益合計	68,879	23
特別損失		
固定資産売却損	49,412	2
固定資産除却損	-	1,727
店舗閉鎖損失	-	286
事業整理損失	-	2 263,744
事業整理損失引当金繰入額	-	2 289,357
その他	118	-
特別損失合計	49,531	23,600
税金等調整前四半期純利益	271,168	283,683
法人税等	71,279	138,473
過年度法人税等	-	18,914
少数株主損益調整前四半期純利益	-	126,295
少数株主利益又は少数株主損失()	2,235	1,329
四半期純利益	202,124	124,966

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	301,453	149,617
減価償却費	547,006	465,895
賞与引当金の増減額 (は減少)	107,795	103,147
貸倒引当金の増減額 (は減少)	77	17,432
受取利息	9,484	8,030
支払利息	129,834	96,133
為替差損益 (は益)	121,975	151,537
出資金運用損益 (は益)	2,495	16,531
固定資産売却損益 (は益)	-	362
固定資産除却損	-	3,741
店舗閉鎖損失	11,226	17,296
事業整理損失	-	263,744
貸付金繰上回収費用	16,546	-
子会社株式売却損益 (は益)	31,688	-
出資金売却損益 (は益)	65,781	-
減損損失	-	26,478
立退料収入	-	23,000
売上債権の増減額 (は増加)	53,062	40,936
たな卸資産の増減額 (は増加)	22,424	35,950
その他の流動資産の増減額 (は増加)	65,849	138,805
その他の固定資産の増減額 (は増加)	161	-
仕入債務の増減額 (は減少)	17,938	53,818
その他の流動負債の増減額 (は減少)	142,774	52,478
その他の固定負債の増減額 (は減少)	149,674	59,501
その他	54,682	21,497
小計	893,916	894,129
利息の受取額	5,206	4,283
利息の支払額	92,021	79,216
法人税等の支払額	39,101	431,429
法人税等の還付額	50,056	33,407
営業活動によるキャッシュ・フロー	818,056	421,174

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	289,067	184,534
有形固定資産の売却による収入	50,672	2,585
無形固定資産の取得による支出	22,944	21,380
無形固定資産の売却による収入	-	2,233
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	29,986	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	15,019
出資金の回収による収入	6,574	24,343
長期貸付けによる支出	500	6,840
長期貸付金の回収による収入	128,915	10,183
定期預金の預入による支出	295,000	90,279
定期預金の払戻による収入	103,921	15,006
敷金及び保証金の差入による支出	7,548	4,788
敷金及び保証金の回収による収入	117,760	16,791
その他	7,076	7,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	184,306	258,742
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	340,000
短期借入金の返済による支出	-	317,000
長期借入れによる収入	910,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	1,414,602	1,284,866
配当金の支払額	-	36,971
自己株式の取得による支出	-	55
財務活動によるキャッシュ・フロー	504,602	501,106
現金及び現金同等物に係る換算差額	102,626	66,086
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	26,521	597,452
現金及び現金同等物の期首残高	1,256,074	838,925
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,282,595	1,436,377

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更 当第3四半期連結会計期間において、連結子会社であるWDI International, Inc.は、保有するW STEAK BEVERLY HILLS, L.L.C.の全株式をW STEAK California Corp.及びPeter Zwiener氏に譲渡いたしました。これにより、W STEAK BEVERLY HILLS, L.L.C.は連結子会社から除外されております。</p> <p>(2) 変更後の当社の連結子会社の数 7社</p>
2. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 資産除去債務に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。</p> <p>(2) 企業結合に関する会計基準等の適用 企業結合等が当第3四半期連結会計期間に行われたことに伴い、当第3四半期連結会計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。</p>

【表示方法の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)
(四半期連結損益計算書関係)	<p>「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。</p>
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	<p>1. 営業活動によるキャッシュ・フローの「固定資産売却損益」は、前第3四半期連結累計期間では営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりましたが、当第3四半期連結累計期間において区分掲記しております。なお、前第3四半期連結累計期間の「固定資産売却損益」は46,322千円であります。</p> <p>2. 営業活動によるキャッシュ・フローの「固定資産除却損」は、前第3四半期連結累計期間では営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりましたが、当第3四半期連結累計期間において区分掲記しております。なお、前第3四半期連結累計期間の「固定資産除却損」は3,239千円であります。</p>

当第3四半期連結会計期間
(自 2010年10月1日
至 2010年12月31日)

(四半期連結損益計算書関係)

1. 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。
2. 前第3四半期連結会計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取補償金」は、当第3四半期連結会計期間において営業外収益合計の100分の20を超えたため、区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結会計期間の「受取補償金」計上額は6,980千円であります。
3. 前第3四半期連結会計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「出資金運用益」は、当第3四半期連結会計期間において営業外収益合計の100分の20を超えたため、区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結会計期間の「出資金運用益」計上額は315千円であります。

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)
1. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。
2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)
税金費用の計算	当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (2010年12月31日)	前連結会計年度末 (2010年3月31日)																												
<p>1 たな卸資産 たな卸資産の内訳は、次の通りであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">商品</td> <td style="text-align: right;">93,198千円</td> </tr> <tr> <td>原材料及び貯蔵品</td> <td style="text-align: right;">173,599千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">266,797千円</td> </tr> </table> <p>2 担保資産 担保に供されている資産で、企業集団の事業の運営において重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものはありません。</p>	商品	93,198千円	原材料及び貯蔵品	173,599千円	計	266,797千円	<p>1 たな卸資産 たな卸資産の内訳は、次の通りであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">商品</td> <td style="text-align: right;">77,492千円</td> </tr> <tr> <td>原材料及び貯蔵品</td> <td style="text-align: right;">178,327千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">255,820千円</td> </tr> </table> <p>2 担保資産及び担保付債務 担保に供されている資産は次の通りであります。 なお、担保に供されている資産で、企業集団の事業の運営において重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、敷金及び保証金（前連結会計年度末は189,297千円）であります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">169,255千円</td> </tr> <tr> <td>工具器具備品</td> <td style="text-align: right;">42千円</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td style="text-align: right;">232,901千円</td> </tr> <tr> <td>敷金及び保証金</td> <td style="text-align: right;">61,844千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">464,044千円</td> </tr> </table> <p>担保付債務は次の通りであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">1年内返済予定の長期借入金</td> <td style="text-align: right;">1,293,494千円</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td style="text-align: right;">1,683,850千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">2,977,344千円</td> </tr> </table>	商品	77,492千円	原材料及び貯蔵品	178,327千円	計	255,820千円	建物及び構築物	169,255千円	工具器具備品	42千円	土地	232,901千円	敷金及び保証金	61,844千円	計	464,044千円	1年内返済予定の長期借入金	1,293,494千円	長期借入金	1,683,850千円	計	2,977,344千円
商品	93,198千円																												
原材料及び貯蔵品	173,599千円																												
計	266,797千円																												
商品	77,492千円																												
原材料及び貯蔵品	178,327千円																												
計	255,820千円																												
建物及び構築物	169,255千円																												
工具器具備品	42千円																												
土地	232,901千円																												
敷金及び保証金	61,844千円																												
計	464,044千円																												
1年内返済予定の長期借入金	1,293,494千円																												
長期借入金	1,683,850千円																												
計	2,977,344千円																												
<p>3 財務制限条項 当社グループが締結しているシンジケートローン契約及び一部の金銭消費貸借契約（当第3四半期連結会計期間末借入残高合計3,635,020千円）には、当第3四半期連結会計期間末現在、以下の財務制限条項が付されております。</p> <p>平成21年3月期末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の金額を6億円以上に維持し、平成22年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の金額を、()6億円、若しくは、()直近の事業年度末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の合計金額の75%、のいずれか大きい金額以上に維持すること。</p> <p>平成22年3月期の第2四半期会計期間末日（平成21年9月末日）及びそれ以降の各事業年度末日及び各第2四半期会計期間の末日における報告書等に記載される連結損益計算書における営業損益及び経常損益をそれぞれ損失としないこと。</p>	<p>3 財務制限条項 当社グループが締結しているシンジケートローン契約及び一部の金銭消費貸借契約（当連結会計年度末借入金残高合計4,732,062千円）には、当連結会計年度末現在、以下の財務制限条項が付されております。</p> <p>平成21年3月期末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の金額を6億円以上に維持し、平成22年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の金額を、()6億円、若しくは、()直近の事業年度末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の合計金額の75%、のいずれか大きい金額以上に維持すること。</p> <p>平成22年3月期の第2四半期会計期間末日（平成21年9月末日）及びそれ以降の各事業年度末日及び各第2四半期会計期間の末日における報告書等に記載される連結損益計算書における営業損益及び経常損益をそれぞれ損失としないこと。</p>																												

(四半期連結損益計算書関係)

前第 3 四半期連結累計期間 (自 2009年 4 月 1 日 至 2009年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2010年 4 月 1 日 至 2010年12月31日)																
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">給料手当及び雑給</td> <td style="text-align: right;">3,799,685千円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td style="text-align: right;">1,416,296千円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">539,322千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">103,157千円</td> </tr> </table>	給料手当及び雑給	3,799,685千円	賃借料	1,416,296千円	消耗品費	539,322千円	賞与引当金繰入額	103,157千円	<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">給料手当及び雑給</td> <td style="text-align: right;">3,559,091千円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td style="text-align: right;">1,341,660千円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">447,786千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">97,309千円</td> </tr> </table> <p>2 事業整理損失</p> <p>当第 3 四半期連結累計期間において、当社グループは事業整理損失263,744千円を計上いたしました。</p> <p>これは、連結子会社であるWDI International, Inc.が2010年 8 月 3 日（現地時間2010年 8 月 2 日）付で、保有するW STEAK BEVERLY HILLS, L.L.C.の全株式をW Steak California Corp.及びPeter Zwiener氏に譲渡したことに伴い、負担することとなった損失額のほか、当該事業に係る貸付金等の回収不能額等が含まれております。</p>	給料手当及び雑給	3,559,091千円	賃借料	1,341,660千円	消耗品費	447,786千円	賞与引当金繰入額	97,309千円
給料手当及び雑給	3,799,685千円																
賃借料	1,416,296千円																
消耗品費	539,322千円																
賞与引当金繰入額	103,157千円																
給料手当及び雑給	3,559,091千円																
賃借料	1,341,660千円																
消耗品費	447,786千円																
賞与引当金繰入額	97,309千円																

前第 3 四半期連結会計期間 (自 2009年10月 1 日 至 2009年12月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (自 2010年10月 1 日 至 2010年12月31日)																
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">給料手当及び雑給</td> <td style="text-align: right;">1,228,819千円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td style="text-align: right;">463,544千円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">164,302千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">103,157千円</td> </tr> </table>	給料手当及び雑給	1,228,819千円	賃借料	463,544千円	消耗品費	164,302千円	賞与引当金繰入額	103,157千円	<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">給料手当及び雑給</td> <td style="text-align: right;">1,177,789千円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td style="text-align: right;">450,171千円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">155,198千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">97,309千円</td> </tr> </table> <p>2 事業整理損失</p> <p>当第 3 四半期連結会計期間において、当社グループは事業整理損失263,744千円を計上いたしました。</p> <p>これは、連結子会社であるWDI International, Inc.が2010年 8 月 3 日（現地時間2010年 8 月 2 日）付で、保有するW STEAK BEVERLY HILLS, L.L.C.の全株式をW Steak California Corp.及びPeter Zwiener氏に譲渡したことに伴い、負担することとなった損失額のほか、当該事業に係る貸付金等の回収不能額等が含まれております。</p> <p>なお、事業整理損失引当金繰入額 289,357千円は過去に計上した上記損失見積額等が確定したことによる戻し入れによるものであります。</p>	給料手当及び雑給	1,177,789千円	賃借料	450,171千円	消耗品費	155,198千円	賞与引当金繰入額	97,309千円
給料手当及び雑給	1,228,819千円																
賃借料	463,544千円																
消耗品費	164,302千円																
賞与引当金繰入額	103,157千円																
給料手当及び雑給	1,177,789千円																
賃借料	450,171千円																
消耗品費	155,198千円																
賞与引当金繰入額	97,309千円																

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自2009年4月1日 至2009年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2010年4月1日 至2010年12月31日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (2009年12月31日現在) (千円)	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (2010年12月31日現在) (千円)
現金及び預金勘定 1,606,739	現金及び預金勘定 1,744,731
預入期間が3か月を超える定期預金 324,143	預入期間が3か月を超える定期預金 308,354
現金及び現金同等物 1,282,595	現金及び現金同等物 1,436,377

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(2010年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自2010年4月1日至2010年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 6,331,920株
2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 312株
3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。
4. 配当に関する事項
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2010年6月29日 定時株主総会	普通株式	37,990	6	2010年3月31日	2010年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自2009年10月1日至2009年12月31日)並びに前第3四半期連結累計期間(自2009年4月1日至2009年12月31日)において、当社グループはレストラン事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自2009年10月1日至2009年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	ミクロネシア (千円)	アジア (千円)	ヨーロッパ (千円)	計(千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	3,381,136	722,074	315,585	55,318	-	4,474,115	-	4,474,115
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,984	-	241	-	-	7,226	7,226	-
計	3,388,121	722,074	315,827	55,318	-	4,481,341	7,226	4,474,115
営業利益又は 営業損失()	348,483	54,122	34,563	19,767	-	348,691	107,954	240,736

前第3四半期連結累計期間(自2009年4月1日至2009年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	ミクロネシア (千円)	アジア (千円)	ヨーロッパ (千円)	計(千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,040,031	2,242,869	1,026,133	132,281	-	13,441,316	-	13,441,316
(2) セグメント 間の内部売上 高又は振替高	19,368	-	766	-	-	20,135	20,135	-
計	10,059,399	2,242,869	1,026,899	132,281	-	13,461,451	20,135	13,441,316
営業利益又は 営業損失()	883,930	193,687	100,833	39,717	-	830,793	328,785	502,007

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
北米・・・米国、ハワイ
ミクロネシア・・・グアム、サイパン
アジア・・・インドネシア
ヨーロッパ・・・イギリス

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自2009年10月1日至2009年12月31日)

	北米	ミクロネシア	アジア	計
海外売上高(千円)	718,546	316,117	62,498	1,097,161
連結売上高(千円)	-	-	-	4,474,115
連結売上高に占める海外売上高の割合	16.1%	7.1%	1.4%	24.5%

前第3四半期連結累計期間(自2009年4月1日至2009年12月31日)

	北米	ミクロネシア	アジア	計
海外売上高(千円)	2,230,150	1,027,800	164,823	3,422,774
連結売上高(千円)	-	-	-	13,441,316
連結売上高に占める海外売上高の割合	16.6%	7.6%	1.2%	25.5%

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
北米・・・米国、ハワイ
ミクロネシア・・・グアム、サイパン
アジア・・・韓国、インドネシア、台湾、フィリピン
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間（自2010年4月1日至2010年12月31日）並びに当第3四半期連結会計期間（自2010年10月1日至2010年12月31日）

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、トップマネジメントが、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にレストラン事業を運営しており、日本、北米（カリフォルニア、ハワイ等）、ミクロネシア、アジアの各地域に展開しております。各地域の消費動向、物価等の経済的特性を勘案して、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を行っております。したがって、「日本」、「北米」、「ミクロネシア」及び「アジア」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントでは、レストラン事業及びその他の事業を実施しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自2010年4月1日至2010年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	日本	北米	ミクロネシア	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,705,571	2,132,052	924,219	187,956	12,949,799	-	12,949,799
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,003	11,250	-	-	38,253	-	38,253
計	9,732,574	2,143,302	924,219	187,956	12,988,053	-	12,988,053
セグメント利益又は セグメント損失()	838,814	43,770	107,171	46,542	948,758	-	948,758

当第3四半期連結会計期間（自2010年10月1日至2010年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	日本	北米	ミクロネシア	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,383,089	688,894	289,370	74,066	4,435,420	-	4,435,420
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,841	3,750	-	-	12,591	-	12,591
計	3,391,931	692,644	289,370	74,066	4,448,012	-	4,448,012
セグメント利益又は セグメント損失()	348,342	3,077	29,851	17,287	392,404	-	392,404

(注) 「その他」には報告セグメントに含まれないヨーロッパの現地法人であるWDI Europe H Ltd.が含まれております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

当第3四半期連結累計期間（自 2010年4月1日 至 2010年12月31日）

（単位：千円）

利益	金額	
報告セグメント計	948,758	291,911
全社費用（注）		3,209
その他の調整額		
四半期連結損益計算書の営業利益	660,056	

（注）全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

当第3四半期連結会計期間（自 2010年10月1日 至 2010年12月31日）

（単位：千円）

利益	金額	
報告セグメント計	392,404	92,753
全社費用（注）		3,125
その他の調整額		
四半期連結損益計算書の営業利益	302,776	

（注）全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間（自 2010年10月1日 至 2010年12月31日）

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第3四半期連結会計期間において、該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（金融商品関係）

金融商品のうち、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、四半期連結貸借対照表計上額その他の金額に前連結会計年度の末日に比して著しい変動が認められるものはありません。

（有価証券関係）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引関係）

該当事項はありません。

（ストック・オプション等関係）

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

該当事項はありません。

（資産除去債務関係）

四半期連結貸借対照表に計上しているもの以外の資産除去債務

当社及び当社グループは、店舗及び事務所の賃貸借契約等に基づく、退去時の原状回復に係る債務等を有しておりますが、退去の意思決定を行うまでは、当該債務に関連する賃借資産の使用見込期間を、過去の使用実績、賃貸借契約等及び減価償却期間等から合理的に算定できないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができません。

その為、退去の意思決定を行うまでは、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

（賃貸等不動産関係）

賃貸等不動産のうち、四半期連結貸借対照表計上額その他の金額に、前連結会計年度の末日に比して著しい変動が認められるものはありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (2010年12月31日)	前連結会計年度末 (2010年3月31日)
1株当たり純資産額 163.38円	1株当たり純資産額 194.52円

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額等

前第3四半期連結累計期間 (自2009年4月1日 至2009年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2010年4月1日 至2010年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 34.59円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額 () 12.67円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2009年4月1日 至2009年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2010年4月1日 至2010年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益 (は損失) (千円)	219,025	80,230
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益 (は損失) (千円)	219,025	80,230
期中平均株式数 (千株)	6,331	6,331

前第3四半期連結会計期間 (自2009年10月1日 至2009年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自2010年10月1日 至2010年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 31.92円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 19.74円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自2009年10月1日 至2009年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自2010年10月1日 至2010年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益 (千円)	202,124	124,966
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益 (千円)	202,124	124,966
期中平均株式数 (千株)	6,331	6,331

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2010年2月12日

株式会社W D I
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 萩森 正彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社W D Iの2009年4月1日から2010年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2009年10月1日から2009年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2009年4月1日から2009年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社W D I及び連結子会社の2009年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年2月4日

株式会社W D I
取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	和田 芳幸 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	石原 鉄也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社W D Iの平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社W D I及び連結子会社の平成22年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。